

令和4年度 第1回 千葉県県土整備公共事業評価審議会 審議結果一覧

No	所管課	事業名 路線又は箇所名等	事業概要	評価の理由	審議結果
1	港湾課	名洗港整備事業 (港湾事業) 名洗港犬若地区	令和4年3月に港湾計画が改訂された名洗港は、銚子市沖の洋上風力発電の促進区域に近接する港湾であり、建設補助・維持管理の拠点としての機能確保が期待されている。 名洗港の施設整備を進めることで、風車の設置・メンテナンス効率の向上を図る。 ・事業内容 係留施設、水域施設、外郭施設	①	新規着手が妥当
2	河川整備課	社会資本整備総合交付金 (河川事業) 一級河川利根川水系高谷川	高谷川は、市川市市街地を流域に含む一級河川である。流域は東京湾の朔望平均満潮位より地盤が低い箇所もあり、河口では排水機場により東京湾へ排水している。流域の内水被害の軽減のため、排水機場の整備と河川整備を実施する。 ・総事業費 80.0億円 ・事業延長 1.26km	②	継続
3	河川整備課	社会資本整備総合交付金 (河川事業) 一級河川利根川水系真間川	真間川流域は、松戸市、鎌ヶ谷市、船橋市の3市に源を発し、市川市を流下し、江戸川と東京湾に注ぐ流域面積は65.6km ² の一級河川である。昭和33年に記録的な水害を受けたことから、治水安全度の向上を図るため、河川整備を実施する。 ・総事業費 1,800.3億円 ・事業延長 31.20km	②	継続
4	河川整備課	社会資本整備総合交付金 (河川事業) 二級河川作田川水系作田川	作田川は、成東駅周辺市街地を流下し、河口には片貝漁港が併設されている二級河川である。平成8年、平成16年、平成25年及び令和元年に甚大な水害を受けたことから、治水安全度の向上を図るため、河川整備を実施する。 ・総事業費 98.2億円 ・事業延長 9.10km	②	継続
5	河川整備課	社会資本整備総合交付金 (河川事業) 一級河川利根川水系旧江戸川	旧江戸川は、江戸川水閘門で江戸川から分派し東京湾に注ぐ一級河川である。昭和24年のキティ台風による大被害を起因として、同年度から高潮対策工事が行われたが、その後の著しい地盤沈下により高潮堤防としての機能が低減したこと、既設堤防の耐震性能の不足に加え、背後地の急激な市街化に鑑み、高潮及び耐震対策を実施する。 ・総事業費 717.8億円 ・事業延長 9.25km	②	継続

【評価の理由】 ① 事前評価：事業の計画段階において、事業着手の必要性や妥当性を評価するもの。

② 再評価：事業採択後一定期間を経過した後も未着工である事業、事業採択後長期間が経過している事業の事業継続の必要性や妥当性を評価するもの。
※現在事業中で、新たに評価対象となるもの。
(国庫補助事業の採択を受けようとする、事業費増により40億円以上となるもの等)

③ 事後評価：事業完了後の事業の効果、環境への影響等の確認を行い、必要に応じて適切な改善措置を検討するとともに、事業評価の結果を今後実施する同種事業の計画等に反映させるもの。

○問合せ先

担当課	電話番号	備考
県土整備政策課	043-223-3121	審議会の運営に関すること
河川整備課	043-223-3165	河川事業
港湾課	043-223-3847	港湾事業